

索引

I 章—施行/管理

A 項—総則

- A.1 言語
- A.2 略語
- A.3 権限と責務
- A.4 クラスの管理
- A.5 ワールドセーリング ルール
- A.6 クラスルールの変更
- A.7 クラスルールの改定
- A.8 クラスルールの解釈

B 項—艇体/エキップメントの適応性

- B.1 ライセンスを受けたマニュファクチャー
- B.2 艇体(ハル)の識別
- B.3 ウィングの識別
- B.4 艇体(ハル)の付属装備の識別
- B.5 競技会でのインスペクション
- B.6 競技会での証明マーク

II 章—要件と制限

C 項—レースでの必須条件

- C.1 総則
- C.2 競技者(クルー)
- C.3 個人の装備
- C.4 ポータブルエキップメント
- C.5 識別

C.6 広告

C.7 艇体(ハル)

C.8 艇体(ハル)の付属装備

C.9 リギング

C.10 ウィング

D 項—艇体(ハル)

E 項—艇体(ハル)の付属装備

F 項—リグ

G 項—ウィング

G.1 総則

序章

国際ウイングfoil フォーミュラーウイングクラスルールは ウイングfoil レーシングクラス競技会で使用されるエキップメントを規制する事を目的としています このルールの目的は量産かカスタムメイドかに係わらず ウイングfoil と見なされるセーリングエキップメントが競技に参加出来る様にする事です

クローズドクラスルール形式で書かれていますが このクラスルールは新しいセーリングの分野としてのエキップメントの開発を促進する為に非常に少ない制限しか有りません

エキップメントの開発の進化のスローダウンに伴い更なるエキップメントの制限が導入される可能性が有ります 登録を伴うエキップメントの方策も公示されましたが年次の登録締め切り日は後に設定されます

競技者(クルー/オーナー)は C 項のルールに従う責任が有る事を認識しておくべきです 競技中のエキップメントの使用を規定するルールはクラスルール C 項、ERS 1 章 RRS(セーリング競技規則)に含まれます

この序章はバックグラウンドインフォメーションで有り国際ウイングfoil オープンレーシングクラスルールは次のページから正式に始まります

” 注意事項 “

クラスルールはクローズドクラスルールで有り (You May) 特に許可されていない限り (You Shall Not) は許可されていない事を意味します

コンポーネント及びその使用に関しての定義は記述されてます

I 章—施行/管理

A 項-総則

A.1. 言語

A.1.1 クラスの公式言語は英語であり翻訳野争議が有る場合は英語のテキストが優先されます

A.1.2 “Shall”は必須を示し”May”は許容を示す

A.1.3 見出し以外の文中で太字(**Bold**)で印刷された用語は **ERS** の定義が適用され
イタリック字体(*italics*)で印刷された用語は **RRS** の定義が適用される

A.2 略語

A.2.1 **WS** : **World Sailing** ワールドセーリング

MNA : **WS Member of National Authority**

ワールドセーリング加盟各国団体

WSCA : **World Sailing Class Association**

ワールドセーリング認可のクラス協会

FWF : **International Formula Wing Foil Class**

国際フォーミュラウィングフォイルクラス

NCA : **National Class Association** 各国のクラス協会

RRS : **Racing Rule of Sailing** セーリング競技規則

ERS : **Equipment Rules of Sailing** セーリング装備規則

A.3 権限と責務

A.3.1 当クラスの国際的な権限は “**World Sailing**” で有り **FWF** と協力して
クラスルールに関する全ての事項を扱う

A.3.2 **World Sailing** 及び **FWF** とその代表者はクラスルールに関しての法的
責務は負わない

A.4 クラスの管理

A.4.1 当クラスはスイスで設立された国際ウイングスポーツ協会

IWSA /International Wing Sports Association によって管理される

A.5 ワールドセーリング ルール

A.5.1 当クラスルールは **ERS** と併せて読まれるべきで有る

A.6 クラスルールの変更

A.6.1 **RRS 87** が適用される

A.7 クラスルールの改定

A.7.1 当クラスルールの改定は **World Sailing** の規定に従って承認される

A.8 クラスルールの解釈

A.8.1 当クラスルールの解釈は **World Sailing** の規定に従って行われる

B 項 艇体/エキップメントの適応性

国際フォーミュラウイングfoil (FWF) のウイングfoilボードとしてレースに参加する為にはこの項のルールに従う必要が有ります

B.1 クラスルールと証明証

B.1.1 ウイングfoilボード/エキップメントはクラスルールに適合している事

B.1.2 2025.05.01.以降 IWSA フォーミュラウイングfoil クラスの大会に於いては“ウイング”と“ハイドロfoilシステム”は IWSA もしくは“ワールドセーリング”に申請され登録マストプロダクション エキップメントリストに載ったエキップメント以外は競技に使用出来ない

詳細 登録マストプロダクションの方策は“ワールドセーリング”によって開設された. 現行生産されている全てのブランドのエキップメントが簡素な手続きで登録申請が出来る エキップメントの登録の詳細に関しては“ワールドセーリング” “IWSA” “各ブランド” 間で本年 2 月実施のタウンホールミーティングで協議される

登録マストプロダクションエキップメントリストは本年 3 月初旬には出来ると思われます そのリストには現在皆さんが持っているもしくは新たに手にするエキップメントも載っていると思われます この事により特定されたブランドのエキップメントを購入する必要は無いと思われます
エキップメントの登録は“ウイング”と“ハイドロfoil”のみで艇体(ハル)は現時点では登録するエキップメントの対象外です

B.2 エキップメントの識別

B.2.2 ハイドロfoilシステムの各部位 “マスト” “フューズラージ” “フロントウイング” “スタビライザー (リアウイング)” “には特定の製造番号が示されてなければなりません マニファクチャーに因って製造番号がクリアーコーティングされている事は許容されます

2025.01.01 以降はマニファクチャーの製造番号はfoilを取外す事なく判読できる位置に付けなければなりません

B.2.3 “ウイング” には特定のマニファクチャー製造番号が示されてなければなりません

II 章 要件と制限

競技者(クルー)、エキップメント、ウイングfoilボードはレース中及び
ルールに規定された時間帯は II 章のルールに従わなければなりません
問題が生じた場合は C 項が優先されます

II 章のルールは ERS に定義されているクローズドクラスルールです
エキップメント検査は この章に記載されている場合を除き ERS に従って
実施されます

C 項—レースでの必須条件

C.1 規則(ルール)

C.1.1 総則

C.1.1.1 ERS が適用されます

C.1.1.2 RRS 1.2 に従い以下のルールが設けられています

RRS40 が適用される場合や レース公示や帆走指示書で指定されて
いる場合を除き 競技者(クルー)は個人用浮力体を着用する必要は
ありません

着用の指示が有る場合は個人用浮力体は ISO12402-5 に適合して
なければなりません レース公示で代わりとなる物や追加の基準が
告知される事が有ります

C.1.1.3 RRS 50.1(b)に従い 競技者(クルー)の衣服と装備(ハーネスの使用する 場合は含む)の総重量は 6.0kg を超えてはなりません

C.1.2 競技者(クルー)ごとへの制限

- (a) 一つの艇体 (ハル) 登録された一つのマスト、最大 2 組のハイドロfoil
システムグライダーと最大二つの登録された “ウイング” が一大会で使用
登録できる数量です

艇体 (ハル)、foilシステム、ウイング、がアクシデントによりダメージ
を受けたり紛失した場合はエキップメントの修理や交換はテクニカル委員
会の承認を得る事で可能と成ります テクニカル委員会は大会のリミテー
ションマークを交換するアイテムに表示しなければなりません。

- (b) 一つの”ハイドロfoilシステムグライダー”は一つのフロントウイング、
一つのリアウイング(スタビライザー)と一つのフューズラージでの構成
を意味します

- (c) “ウイング”の使用登録は以下のサイズの区分内で一つのサイズが登録出来
る

男子

ラージ：表示サイズ 5.5m² もしくは 5.5m² 以上の大きさ
スモール：表示サイズ 5.5m² もしくは 5.5m² 以下の大きさ
女子/ ユース(U-19)

ラージ：表示サイズ 5.0m² もしくは 5.0m² 以上の大きさ
スモール：表示サイズ 5.0m² もしくは 5.0m² 以下の大きさ

C.2.1 競技者(クルー)

- (a) 競技者(クルー)は 1 名

C.2.2 会員資格

自国内及び国際レガッタに出場する競技者(クルー)は自国のクラス協会の会員でなければなりません 自国にクラス協会が無い場合は IWSA の会員登録をしなければなりません

C.2.3 年齢区分

- (a) OPEN(オープン) 全ての年齢の男性と女性
- (b) ジュニア (U-15) 大会開催年の 12 月 31 日での年齢が 15 才以下の男子女子
- (c) ジュニア(U-17) 大会開催年の 12 月 31 日での年齢が 17 才以下の男子女子
- (d) ユース(U-19) 大会開催年の 12 月 31 日での年齢が 19 才以下の男子.女子
- (e) ユース(U-21) 大会開催年の 12 月 31 日での年齢が 21 才以下の男子. 女子
- (c) MASTERS(35+) 競技会開催年の 01.01.で 34 才を超えている男性と女性
- (d) GRAND MASTERS(50+)競技会開催年の 01.01.で 49 才を超えている男性と女性

C.3 個人の装備

C.3.1 必須要件

個人の装備品のマニファクチャーは任意です

- (a) 取り外し可能な”ウイングリーシュ”使用し 水上にいる間は常に装着している必要が有ります 但し着衣や装備を直す短時間は除外します
- (b) レース公示で指示されてる場合 取り外し可能な明るい色のボードリーシュを水上にいる間は常に装着している必要が有ります 但し着衣や装備を直す短時間は除外します
- (C) ヘルメットは EN1385、EN1077.又は同等の基準の物でかつ 明るい色で 300cm² 以上の部分を塗装したヘルメットを水上にいる間は着用してなければなりません 但し着衣や装備を直す短時間は除外します レース公示で指示されている場合ヘルメットには自国の国旗を表示しなければなりません

- (d) RRS 40 の適用に因って個人用浮力体の着用が求められた場合を除き
競技者(クルー)はインパクトベストを着用しなければなりません
インパクトベストは胴体に着用し胴周りを衝撃から保護するために特別
に設計された衣服です 2025.01.01.以降インパクトベストは ISO 12402-5
又は USCG Type III,もしくは AS 4758 レベル 50 等の基準に適合していな
ければなりません

C.3.2 オプション(任意で選択出来る装備)

- (a) 飲料を携帯する為の容器 / RRS 付則 WF4 50.1(a)に準ずる
- (b) 電子式又は機械式のタイミングディバイス(タイマー等)
- (c) 心拍数モニター装置
- (d) 電子式又は機械式方位計(コンパス)
- (e) 任意の録画装置と取り外し可能なアタッチメント
レース公示や帆走指示書でこのルールは変更される事が有ります
- (f) ホィッスル / ISO12402-8 又は同等の規格の物 /競技者の安全確保の為
- (g) ハーネスは真水に於いても十分な浮力を有してなければならない

C.4 ポータブルエキップメント

C.4.1 必須要件

C.4.2 オプション(任意)

マニファクチャラーは任意です

- (a) 任意の明るい色の “ボードリーシュ”
- (b) 任意の録画装置及びアタッチメント / 重量計測時に取り外し可能な事
レース公示や帆走指示書でこのルールは変更される事が有ります

- (c) GPS 追跡装置と付属アタッチメント レース公示又は帆走指示書で
許可されている場合に限り
レース公示又は帆走指示書で使用が必須とされる事が有ります

C.5 識別

競技者(クルー)は RRS WF 9 に従わなければなりません

C.6 広告とクラス記章

C.6.1 制限

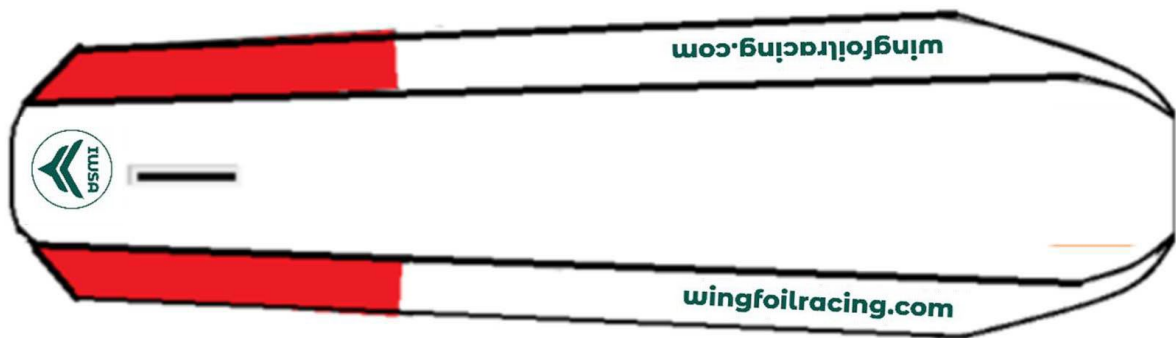
広告はワールドセーリングの広告規定に従って表示する必要があります

C.6.2 広告及びクラス記章の配置

艇体(ハル)30%のテールの両側のエリアはイベント広告の為のエリアとして確保されます エリアのサイズは50cm x 10cm です

クラス記章は艇体(ハル)ボトムの中央ラインのマストトラックボックスの後方の10cm x 10cm のエリアに表示しなければなりません

トリミングやコーティングはしてはなりません



艇尾の赤色のエリアがイベント広告エリアです

C.7 艇体(ハル)

C.7.1 改造, メンテナンス, 修理

改造, メンテナンス, 修理は許可されています

C.7.2 国籍の識別表示

- a) レース公示で規定されている場合 競技者(クルー)は自国の国旗を艇体(ハル)ボトムの前方 1/3 の中央の幅が最も広いエリアに表示しなければなりません その他の競技会に於いては国旗の表示は任意です
- b) 国旗は直径 350mm で WFO に指定されたデザインに従った物で有る必要があります トリミングやコーティングはしてはなりません

C.8 艇体(ハル)の付属物

C.8.1 改造, メンテナンス, 修理,

改造, メンテナンス, 修理, は許可されています

C.9 リギング

- C.9.1 改造、メンテナンス、修理、
改造、メンテナンス、修理、は許可されてます

- C.9.2 オプション(任意)
任意のハーネスラインが使用出来ます

C.10 ウイング

- C.10.1 改造、メンテナンス、修理、
改造、メンテナンス、修理、は許可されてます

- C.10.2 国籍の識別
レース公示で規定されている場合 競技者(クルー)は自国の国旗を
規定に従い 2 箇所に国旗と国籍表示をしなければなりません

D 項—艇体(ハル)

D.1 部品

- D.1.1 必須事項
(a) 艇体(ハル)のシェル(外皮)

D.2 総則

- D.2.1 製造者(ビルダー)
(a) 製造者は任意です

D.3 艇体(ハル)のシェル(外皮)

- D.3.1 材料
(a) 材料の選択は任意です

- D.3.2 構造
(a) 艇体(ハル)のシェル(外皮)はシングルシェル

D.4 艇体(ハル)組み立て

- D.4.1 付属品(フィッティング)
(a) 製造者は任意です

D.4.2 寸法

	最小値	最大値
艇体(ハル)の長さ	---	1950mm
艇体(ハル)の幅	---	800mm

E 項—艇体(ハル)の付属装備

E.1 部品

E.1.1 必須事項

- (a) ハイドロfoil

E.2 総則

E.2.1 製造者は任意です

E.3 ハイドロfoil

F.3.1 材料

- (a) 材料の選択は任意です

F.3.2 構造

- (a) 構造/製法は任意です

F.3.3 付属品(フィッティング)

- (a) 製造者は任意です

F 項— リギング

F.1 部品

F.1.1 オプション(任意)

- (a) Running(ランニング) Rigging(リギング)

F.2 総則

F.2.1 製造者

- (a) 製造者は任意です

F.3 ランニング/ リギング

F.3.1 材料

- (a) 材料の選択は任意です

F.3.2 構造

- (a) 構造は任意です

F.3.3 付属品(フィッティング)

- (a) 製造者は任意です

G 項— ウイング

G.1 部品

G.1.1 必須事項

- (a) ウイング (H.1.を参照)

G.2 総則

G.2.1 製造者

- (a) 製造者は任意です

G.3 ウイング

- (a) 材料の選択は任意です

G.3.2 構造

- (a) ウイングにはリーディングエッジとトレーリングエッジがなければなりません
- (b) リーディングエッジはインフレータブルでなければなりません
- (c) ウイングは製造過程の許容範囲で対称形で有り リーディングエッジとトレーリングエッジの中央ラインは垂直でなければなりません
- (d) ウイングは艇体(ハル)やスパー(マスト等)と結合されてはなりません
- (e) ウイングは競技者(クルー)が手で直接ハンドル操作をする様に作られてなければなりません
- (f) 任意の形状及び、任意の数量のハンドルを着装する事が出来ます
- (g) ウイングは十分な浮力を持っていないければなりません
- (h) ウイングはセンターストラッを軸に両側(もしくはセンターストラッに
対等して) リワード側の他のウイングが認知可能な大きさのウインド
ウを少なくとも一つ以上なければならない、センターラインを跨ぐワ
ンピースのウインドウでも良い
- (i) ウインドウは方側合計で 400 cm 2 以上でなければならない

G.3.3 寸法の範囲

- (a) ハンドルの外側からウイングのキャノピー生地迄の垂線距離は
80cm 超えてはなりません (H2.1 の画図を参照)
- (b) ハーネスラインの最下点からウイングのキャノピー生地迄の垂線
距離は 160cm を超えてはなりません (H.2.2 の画図を参照)

III 章—付則

III 章のルールは ERS で定義されているクローズドクラスルールです
計測はこの章に記載されている場合を除き ERS に従って実施されます

H 項— 定義と計測

H.1 ウイング

H.1.1 定義

発給日：2025.05.01.

以前の版の発給日：2024.03.01

このスペースにウイングの画図 3 点挿入して下さい



